

熊本県知事選挙 選挙公報

熊本県選挙管理委員会

国いいなりの 自民政治を転換し

くらし・福祉・教育・優先 県民主役

新しい県政を

市民・野党共同で

安倍自公の悪政に
「ノー」の審判を

安保法制廃止

消費税の増税中止

原発ゼロ、自然エネに

TPP撤退、農漁業再生

水俣病被害者の救済



国に強く求めます

① 憲法知事で、地域とくらし支える

- ブラック企業・バイトの根絶を
- 住宅・店舗リフォーム助成で仕事と雇用増やす
- 非正規を減らし、正職員を増やす
- 中小企業支援と一体で県の最低賃金引き上げを

② 子ども、お年寄りの笑顔が輝く県に

- 子どもの医療費は中学卒業まで無料に
- 市町村と協力して国保税(料)の引き下げ
- 35人学級を小中学の全学年で
- 特養ホームを増設し、待機者をなくす

③ 立野ダム中止、くらし・環境守る

- 自然破壊の立野ダムを中止し、予算はくらし・福祉・教育に
- 諫早湾の開門調査、有明海再生
- 水俣病被害者の救済、沿岸住民の健康調査
- 自然エネ・再生エネで循環型の地域経済を



弁護士

略歴 天草市生まれ/天草高校・九大卒/たんぽぽ法律事務所代表/熊本市在住/家族妻、3女



寺内大介

あかるい熊本をつくる県民の会

くまもとの良き流れを強く大きく!!

かばしま郁夫
ヒストリー(プロフィール)

- 誕生 山鹿市(旧鹿本郡稲田村)に生まれる
- 9人兄弟の7番目として貧しい家庭に育つ
- (18歳) 県立鹿本高校卒業、高校時代の成績は220人中200番台
高校卒業後、地元農協に勤務
- (21歳) 農協を退職、農業研修生として渡米
- (24歳) 勉学の楽しさに目覚め再渡米、ネブラスカ大学農学部入学
- (28歳) 政治学者を志し、ハーバード大学大学院入学
- (32歳) ハーバード大学大学院修了(政治経済学博士)
- (33歳) 筑波大学講師に就任、助教授、教授として勤務
- (50歳) 東京大学法学部教授に就任
- (61歳) 熊本県知事就任(1期目)
- (65歳) 熊本県知事再選(2期目)

かばしま県政の“良き流れ”

さらに強く大きく!!



- くまモン商品売上高1千億円突破(H27)
- 国際航空路線・クルーズ船誘致に成功
- 世界遺産登録: 万田坑、三角西港
- 借金を約1,500億円減らし、財政再建
- 鳥インフルエンザを完全に制圧
- 県庁を挑戦する集団に改革
- 生産農業所得九州1位(全国4位)
- 認知症サポーター6年連続日本一
- 看護・介護・保育士さんの待遇改善
- ラグビーW杯・世界女子ハンド誘致成功

活力と雇用を創る

地域の活力を支える強い産業と人材を育てます

- 稼げる農林水産業を拡大します
- 戦略的企業誘致を展開します
- 地域に根差す地場企業をサポートします
- 観光産業を地域を支える産業にします

安心・希望を実現する

誰もが安心して暮らし、希望に向け挑戦できる熊本を実現します

- 子どもを安心して産み育てられる熊本
- 年をとっても安心して暮らせる熊本
- 障がいのある方が安心して暮らせる熊本
- 一人ひとりが尊重される熊本

世界の中で輝く

世界の活力を取り込み、世界へ打って出ます

- 新たな国際線誘致など世界の活力を取り込む
- 新たな海外市場の開拓で世界へ打って出る
- 国際スポーツ大会などのビッグチャンスを生かす
- スポーツで国内外からの誘客を目指す

未来の礎を築く

家族・地域の絆を再生し、誇るべき熊本を未来へ継承します

- 幸せを実感できる次代につなぐ地域づくり
- 県内就職を希望する若者に選ばれる熊本
- 地方創生へ市町村とスクラム
- 大規模災害に負けない熊本づくり



かばしま郁夫

熊本県知事候補

蒲島郁夫 選挙事務所

熊本市東区健康本町2-6 TEL.096-331-7770 FAX.096-331-7771

マネIFESTは 蒲島郁夫マニフェスト 検索
http://kabashima-ikuo.comでご覧いただけます

今“守る”は県民の暮らし、 今“変える”は県政。

知事のリーダーシップとは

行財政改革など反対を招きやすい政策を進めるためには、トップのゆるぎない覚悟と「決して途中ではしごを外されない」という、職員との信頼関係が重要です。

最近、さまざまな組織で周囲がわざわざお膳立てをして、トップの決断という形を演出しているかのような場面を見ることがよくあります。

現場の声を真摯に聞いて孤独な決断をし、その責任から決して逃げない、地味な日々の仕事の積み重ねだと思えます。

議会との関係や政党の推薦を求めない

議会では、過半数を味方につけなければ議案が成立せず、行政は停滞するといわれます。ただそれを恐れるあまり事前の根回しに頼りすぎると、大切な問題が県民の目の届かないところで決まってしまう。公の場での議論を重視し、どの政党、会派とも適切な緊張関係を保つべきだと思います。

熊本市長在任中に2度の政権交代があった経験からも、国の政治情勢に振り回されないよう各政党とは等距離でいた方がよいと考えます。

水俣病問題

平成24年福岡高裁は、「水俣病溝口訴訟」で国の認定基準を否定した上で、申請を棄却された方を患者と認める判決を出しました。その際、県は、「認定制度の根幹に関わる」として上告しました。この認定制度の根幹とは何なのか、私は疑問に思いました。被害の実態、全体像を明らかにしないまま救済も後手に回った行政には大きな責任があります。不知火海岸住民の健康調査を実施し、最後の1人までの被害者救済に責任を持って取り組みます。

原子力発電と再生エネルギー

福島第一原子力発電所事故を教訓として、「将来的には原発に依存しない社会を目指すべき」、これが基本的な考え方です。その代替として再生エネルギーの普及が不可欠です。熊本県は小水力、バイオマス、地熱など安定的な再生エネルギーに大きな可能性を持っています。これを産業として育てることは、農林水産業や観光と並んで地域を支える柱のひとつとなります。地域の皆さんと協力しながら進めます。

私の公約

1 人口減少社会を乗り越える 県土のグランドデザイン

- ▶「小さな拠点」づくりで地域コミュニティを守る
- ▶地域の交流と連携で地方都市を再生
- ▶公共交通と道路整備などでネットワークを充実

2 持続可能な産業の振興と 地域経済の活性化

- ▶地域経済を支える地場産業の振興
- ▶攻めの農業への転換と中山間地農業の維持
- ▶多様な観光による地域経済の活性化

3 人を大切にする教育・医療・ 介護・福祉の充実

- ▶少人数(35人)学級の拡充等による良好な教育環境
- ▶子ども医療費助成等で安心の子育て環境
- ▶地域の医療・介護体制の確立

4 県庁の改革

- ▶組織を見直し市町村との連携を強化
- ▶情報公開と公的オンブズマン制度の導入
- ▶県民との直接対話「ふるさとトーク」(仮称)の実施



幸山政史

50歳

平成28年3月27日執行

熊本県知事選挙 選挙公報

熊本県選挙管理委員会



熊本県選挙管理委員会

3月27日は 投票日です。



投票時間

午前7時～午後8時

※一部の地域では時間が異なります。

当日の投票と、期日前投票・不在者投票は記入方法が異なります。

平成28年3月27日(日)に行われる熊本県知事選挙の投票は、投票日当日は「○」をつけるだけの「記号式投票」、期日前投票・不在者投票は自分で候補者の名前を書く「記名式投票」となります。

期日前投票・不在者投票



- 投票期間
3月11日(金)～26日(土)
- 投票時間
午前8時30分～午後8時
- 記入方法／記名式投票

- 投票用紙には候補者氏名を書きます。
- 不在者投票の場合は、投票用紙を封筒に入れたり、それに署名する手続きが必要です。

期日前投票

候補者氏名を書いてください

当日投票



- 投票期間
3月27日(日)
- 投票時間
午前7時～午後8時
- 記入方法／記号式投票

- 投票用紙に書いてある候補者の中から、投票したい人に「○」をつけます。

当日投票

○をつけてください

投票日にご予定がある方は、 期日前投票・不在者投票ができます。

●お問合せ先／熊本県選挙管理委員会(県庁内) TEL:096-333-2104

※投票所及び期日前投票所の時間などは地域によって異なる場合があります。
詳しくは、お住まいの市区町村の選挙管理委員会にご確認ください。